

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

システム導入支援プロジェクト

1. システム導入支援プロジェクトに関わり始めて

クライアントご担当者が非常にレベルアップし、円滑なプロジェクトに(1~4月ごろ)

- ・プロジェクトの全体像や考え方の体系を伝えることを意識
- ・プロジェクト推進にあたり、ご担当者も社長など経営層の考えに触れる機会が増加
- ・ご担当者の視座が向上、それにとまって MC が提供する価値も「作業」から「実行過程の伴走」にシフト

ベンダーからの提案受領後、当初想定していた選定プロセスの見直しが必要に(7~9月)

- ・「システム導入(DX推進)」が無意識に「ベンダー選定」に(プロジェクト全体の俯瞰ができていているという思い込み)
- ・チームの皆さんからもらった意見を通じ、「製品を選ぶ支援」ではないPJ本来の目的に改めて気付けた

2. これからのプロジェクト推進に向けて

引き続き契約いただけたこと、良いメンバーに囲まれていることに感謝しつつ、より本格的なDX推進支援へ

- ・DX推進においては、「業務プロセス」や「データ」などの個別論点を考える必要はあるが、それらの関連性を俯瞰することや、全体的な視座でTo-Beを描くことが重要
- ・全体と個別の視座を意識的に切り替えながら、視野を狭めることなく良い方向へと進めるよう、取り組んでいく